※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０６

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	学年	２年次
使用教科書	高等学校家庭基礎　持続可能な未来をつくる（第一学習社出版）						
副教材等	最新生活ハンドブック 2023　資料&成分表　（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取組みましょう。

・身近な生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分自身の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を養う。人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	これからの生き方と家族	○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ・自己を知る ○目標をもって生きる ・将来の生活を展望する	a：事例研究などを通して、青年期の生き方について考える技術を身に付け、青年期の課題について理解し、人の一生を自分自身の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：青年期の生き方について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査	授業観 プリント	授業観察
		○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	a：事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付け、生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分自身の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b：生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査	授業観察 プリント	授業観察
	衣生活をつくる	○被服の機能と着装 ・何をどう着るか・TPO ○被服の管理と計画 ・界面活性剤のはたらき ・繊維の違い ○被服製作(実習)	a：生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付け、被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b：被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査 製作物	授業観察 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	授業観察 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

2学期	経済生活をつくる	○賢い消費者になる ・消費行動と意思決定 ・契約の重要性（成人年齢引き下げにより重点的に） ・キャッシュレス社会のメリット・デメリット ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと家計管理や経済計画の重要性 ○生涯を見通す ・自分のめざすライフスタイル ・生涯を見通した生活設計	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付け、現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査	授業観察	授業観察
	食生活をつくる	○食生活の管理と健康 ○食事と栄養・食品 ○食生活の安全と衛生 ○調理の基礎 ・調理実習（9月～11月・感染症対策をした上で実施）	a：生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付け、栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査 制作物	授業観察 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	授業観察 製作計画 実習ﾚﾎﾟｰﾄ
	次世代をはぐくむ	○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育 ・子育て支援	a：子どもと適切に関わることができる、子どもの健やかな発達を支えるための技術を身に付け、子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b：子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 定期考査	授業観察	授業観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	住生活をつくる・子どもと共に育つ	○住まいは暮らしの器 ・安全で快適な住居 ・住宅広告を読む ○住宅設計図制作	a: 安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付け、住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b: 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント 製作物	授業観察 製作計画 製作物	授業観察 製作計画 製作物
	共に生き、共に支える	○よりよく生きるために ・私たちの生活と福祉 ○現代日本の抱える問題を生活者の視点（高齢者福祉、防災・減災、社会保障等）で捉える ・高齢者体験実習	a: 地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付け、共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。 b: 共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	プリント	授業観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ	授業観察 実習ﾚﾎﾟｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度